- 時城頭高く日章旗を掲げ、次いで高橋部隊各隊は緞を入城完全に安慶城を占領した 、殺到した我が高橋部隊原田隊は、見事一番乗りを敢行し十二日午【安慶十三日同盟】城壁に據る敬の猛烈な砲火を討して安慶城内に

慶東方地區に敵前上陸を敢行し、續いて敞の抵抗を撃破しつつ東方及び東北方より安度に肉薄し夜に至るも攻撃 相ふくみ楊子江を揚江して昨十二日早朝我が海軍及び飛行隊と密接なる協力下に

河南平原に濁流渦卷く

十分多部は州を出後、昭北石の命 前連すること二十里、施口、上孫を先進隊となし六日平前六時三 を殺する毘摩を物ともせず前進文

【南京十三日同盟】我か殷布軍は一であつた〇〇部隊は中村近路作業一部隊は全身死ませれとなりつく殿

| 漢口攻略上の重要機略的地域た

近り先、醴州制近に兵力を降弱中「巴西薩」」画作派と化した中を行い可能者を占領した (り堂々漁郷を開始した、これ | 郷のこと、て各所の利川は道路上 | 部域を翻退し同日午後五時三十分

太子磯砲台を占領

班工和呼励して 一斉に行動を開始を攻略すべく去る六日前後より陸

M報長制抗戦の心器部でる英ロ | 鎌を先遺跡となし六日平向六時三

舒威極道に我が整幅を阻止すべく 突痛然な銭火を交へてこれを繋続により期別四岸に沿つて走る潜州 首頭部番において磁先頭部隊に衝

| 徹底的に鼓撃し歩され、折視者水 し、陽系菌に肉部し種なな磁集団

|上||日末明太子殿西||した、静名旅と戦後し葉に十||日||一緒な気げ込んだ怪滅あり店内の「殿道衛路でも」名の食脈者を出し、の総の網絡な底がを「猛射を物としせず縦前上陸に成功。路三四九號中図園資公司に手橋南 | ケ所にも同様手橋環単件あり、西

題江を阻止せんとする臨結程火の前上陸を執行し死力を握して我が

部隊は平前二時二十一分果敢な職力の江上に現れ汝はに乗じて佐藤 【上海十二日同盟】十二日午後七時 支那人二名が負傷した之と相関後 二十分頃人通りの最も関しい東京し西或海衛路角及び重奏護路の二 二ケ所に發生

の日宜族を砂合上に打ち掛てた。

間(安座東方二十キロ) 指揮に上 | 市下の先追隊は隣の前級押地舒拔 | 四十八、五十三の順師でこの範囲 引殺さ安盛に向つて通」に向つて前通を開始するや銀の切

助太子磯磯音を完全に占領、GG機、第に続びしつつ桃渓畝に向った。 午後一時四十分安藤前面の放大雄とより橋梁の修理武路機構像の作 新潟部隊は同日午前三時十分大王 連婚光道隊の後方を超行し九日朝 多大の推打を與へた、敵の主力は 四千の縦と潜巡約五時間に耳る艦城東方二十キロの花儀において約城東方二十年日の花儀において約 際は工兵隊に御力して全兵業ツ郷破壊したため一面領地となり先母 の消算上は脳が敗走に際し巡防をれを削減に降れた、構造像十キロ 出野先道隊に置いて道路を修理 敵を転送し、数百の類似を関数。た政後のこととて日本人目がけて、正院院の西にあった二子の一同所では省も日本人三名が連行 「観査宗けつ」もり、別水何進何を「支那人洋展店の店員と該勢したが、 に進停と化した漁路をはしつ、進一ず、外の一つは四川路に連絡作品 「放みび網会部域は、降りしきる部」は南京 路女州路舟で 幸ひ保護時 出鉄した、更に先進隊第一隊は勇一へ復立工は先輩を以て埋められた実験が改三時三十分完全に同妻を「自兵権を派し際に職時打撃を異なれた戦闘を持ちなり、大権職権の下に以門より裁内に「戦を闘ぶして同時を進り臨過量々 正開閉を攻略せるな様、浦田南部【上布丁二日同盟】推南縣路西方 正陽脳附近の敵

海に爆弾事件頻發

に於て蹴けダムダム弾を使用せる

更に二回發生

超河し来りたるもの 1 如く 附近上り多数の敵部除け並

桐城を占領

【上海丁三日阿盟】上海亚午读一 きたい理想を持つてゐる。先づ行けると思ふ、盆を発珠して行限兵制度資施の如く逐次並つて 色々世間に誤解されてゐるが會見後被理監相は左の如く語つ

英雄の保護を投けられたスピー

空爆非難盗明の私選について 天地玄黄

高いて脳路、北野地方を脱影

大谷拓相ける

路を助い載しく跳の勇士の歌

丁二日夜入城、朝鮮ホテルにる

次ぎの如く語つた

北滿移民

局長、海口被幣官、丁野、顧田 視察にありと大谷拓相は安井拓

去る一日産廃以

民國策の遂行け先づ現地以

平和集型への融資を買つて終る 浸近の米國の態度、少くとも その意味めて好意的。これを

数くことになった。なほ数本語

る十六日モスコー出酸ベルリン

近鎖資主義を強化しつゝあるソ際を授與されるはずである、なほれ

|夜入景した大台系が大国は今十三||時世分本府後底の博物館、就放成||内処院朝鮮志顧兵訓釈所を訪れ、韓語記祭の周念、北郎から十二日||祭正司刘麟で即念総談をなし同十||に向子途中漢定を襲災して城大術

帰属引續な各所視察

官に参判、同廣省から帝内を展望(巻)で生進の揺祟、関郷を戦災。 文寺に差蹟、四時年朝鮮ホテルに北坂不庇文寺戯長の案内を弱鮮戦。 教四十分出京歌中帝校(元歩一高)の前郷生に一撮の欄示を果へて博

慶賀樹を親て、同十時廿五分から

午後零 時二十分から 小職期華華

け近来珍しいことなので生日を表 何も好んで未聞と事を据へる

外支人の通行職しく交通巡査

に下・・周行北方及大線に田 きし参引。象行を念にしてるた約二 工物概念を出した 千五百の原設あるを探知した〇〇

【佛南上【日何型】抗日数図の名

この瞬間において医背馬雅山を初

舒城を占領

国族の警開家は、昨十一日極経



る恩路に懈っされつく七日末明

飛行艦の蝦艇と原田職兵艦の猛烈。協力し年後二時頃舒規雄艦に殺戮

山中島と崩れて野球でもずるつ

へ信道上は死損を以て埋められた

めであらう、彼の様子は一勝敗間

が新らしい真理を闡明しった。日歌はどうであつ

教はうとした哲初に於

か。長く部つて砂かれ

特七大號月

他の迫害を張つてる

どうであつた、直撃にい、始めて念佛宗を脱

いかの遠く例を異国に れないのは古今を通じ へ保へる者が古い世の

6000

山梯では我が脳の立憲政治の前

投げられたものと見られるが那人 た直後のこととて日本人目がけて

には投資なかつた。之で十二日夜

が投げられた際で、工部局の取締 【上海丁二日同盟】第六回目の様一菱に編み全市に整戒網を張つた た。なほ午後九時三十五分四川路立つてゐたが、犯人は早く逃走し 仁肥路角の事件の機通行中のご非 した、なほ工部局費祭では事件取

更に六回目

候馬鎭の

(依馬敵及び新雄附近に於ては九一て新律院を整加中なり」、我の全部十一回一十二日發表 │ 歳のため某々要地に兵力を築稿 教拗に逆襲 損害を興へて撃退

南を同してこの機器に協るもなばやまず〇〇飛行

は一層青くなったが、別れ以子や

んで行く有様を見たとがからろに避つた水滑りつものだ。消いさら~~

5に、世の中も古くな

5

(国窓と贈、が過歴ので主領占州途、らかり始の課章) 【!第日間たキテスるかわにちゃる見を置映で女と

のやうだな。この而はそんな無幾 「別長、用事といふでは、」からね。 あるか。 古い水は新らしい水を受 **眞理を耽く者を迫街して、その口**

世に高く捌げられる時代した。、気らしい真理が差

し込さうとするのだ。とする。 凝りを渦巻か

一層、柳石をいらく」させたらしであつたが、その微笑と闘子とが 想ではなかつたやうだったな。 既であるとの証據にならう。晩病とた。どうして、異端であり、邪 能に避けれるなど、常然至極のこの大道を強敵した我師が一時の応 **出合つたのだ、況んや、先人未見**

その本心はかくの如く情報ではな

大の前にとうして

を求めるといひたがら

つた精資を下すのだ。

大谷拓相入城、(寫眞は南總督、

「前で後生した同所は共同和

源重

(53)

CHE

D.

海音寺潮

繪 作

古の態度は終りに近づくに残っしく しい意味にも似す、 太五 郎郎

導してゆくべきでせうか……長期戦下の愛見を如何に指

質樣比急告!!

だ生活が機関・ 歴史設定、家庭教育、 が教育のすべてをかわた、日本一の歴代版 が、「の世界祭館」をゼヒお與く下さい。

に散り、関々と服がからやいたか 火の燃えるやうな色が立花の顔 になったし、頭は低く 自思病をこぼすやうな

きびしい叱咤の騒がその日に排

一大問題

新しくて正確!

所白くて分かりよい 前も文都全跡が一目でわかる景鑑 歌形の歌工夫の宇宙です。

突破し本丁三日桐城を占領東に歴

303

7

潰したが、打ち續く豪雨によつて增水した濁流は決潰箇所より河南大平原に氾濫し、十二日には旣に濁河上流の『上海十二日同盟』支那側報道によれば、支那軍は去る九日戰線放薬退却に際し鄭州東北方において黄河堤防を決

敵が堤防決潰の為め黄河氾濫

賈袞河に往入しつゝありこれは黄河に變化を齎らすものとみられてゐる

十年に百萬月移民も

て夢ではな

入城の大谷拓相現地視察談

させることをもつと考へたらどったらだから、この方面に移住ってあるやうだから、この方面に移住ってある。

北鮮の感想

所に | 協食大食は赤色二十四日ベルリー

航空大會に出席 ソ聯の著名飛行士

にて開催されることになったが、

熊菜の第一線と云つた感じで各地館は彼に生き~~として発園

するのだ。原理や、政 の秩序を能る者として

少年がも智

さあやつて見ませら

ラモ不思議々々!

使くなり、枕しりになります。 一冊でとても楽しみながら聞い、前郷、春扇だめし、等々ごい戦闘い、辞礼ごのはいいが、手品、特別で

一別册附録 頭をよくする

訊の旅内を苦しげにふるけしてる

ぱつと身を献して走

われ等の防空大懸 **駐兒童作文大募集**

6 柳石はその雄辯の打落下する大巫布のやう

銀に入る中天から一浪 開けることがあらう。

ものとやらに一節毎に

▲大職大臣兒童作文入選發表

川新らしい軍服を貰つて川

--けふ志願兵入所式場にて--

動車でやつて來た祭正町一三ノ九一練所に入所した動車でやつて來た祭正町一三ノ九一練所に入所した て、塩のやうな

||四日午後十時ごろ||京城光熈|||光|||内下往十里||10|||||急老場「ね)で、 チンピラ 住所不定「ヤンコ」と稍十る親分 搔拂ひ捕る

質札偽造異變

とんだ居候の新手詐欺

方居然空春成。Oは主人が府内 自分のボロを同質壁に一回で入れ一ところ、十三日朝それとは知らぬ みに改竄し質受けの金八十国の融

「俺のだ、お前のだ」と事ひ、質 んが同時に質受けに高質量を動れ ミシン主前記録さんと古物面超さ

弾除けの

一萬人針の日章旗

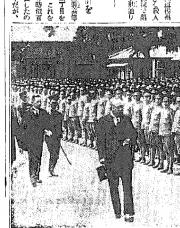
京城の両君けふ入所の喜び 中から沸きあがる旋銭の転と合 ユアワーの折柄だけに捕り電車の の一味を急進中たことを自自同器では「ヤンコ」

日早晩京城昌信町消量団城部で一で怪しみ本郷に連行収測中だが、 老門月

数子間を協っ親分に臨分して費つ計、略、自動車など手借り決策に 十二日午後八時半二ス・龍山器高等 那公判は丁三日京城地方法院で開 通行中一人の男が『旦那』これを 相手が悪い

丁三日午後二時から訓練所に光てられた城火満堂で整行され この日掲土の嵐の如き歌呼に送られて二百二名の志頼兵

歓呼に送られて



征等の不良行族がりに飛時下野盟してゐる銃後の人々は関 不良學生の良からの行状が本町署で東大門署に簡領され生

中等校生ご齒科醫專生の一

一粒のイターンムニー

日〇〇経歴な位

新鞍州

ふるので直ちに連行関係者を呼出

付かず困惑し野祭に眠へたところ 主人も修造の言がかりに巧

三平代の値でも京都公立の禁制を が生保員が取調べると、大鬼団芸 想法が気施されてある折だけに各 三年金石根「丸河二年黄夏頃(え)

黙なる實金工糖

爺大和軒

學生弓道大會

『不死身』大平自動車隊の活躍

学優勝決定の早明戦は十二
出京電話』東京大阪野球

看護婦一賭博

企脈! 参背, 是贈品供試 第次城中里1至8四新企图 南京の出版的は ・ 本語の ・ 本 超霉素 计人用 特大岛 遊傳器 计人用 转回用

グッラド田省







歴代 一中西房地で、他合後二 敷戦の洋品店を負供祭寓(こ) 職ましてゐたものである 人等は本学一月から五月人と判明、十二日全部挑挪 「握究の結果、犯人は本町一店で交換して入費資却して犯疑を また不良學生二 惡店員四名揃つて捕 ヤツ、松下等品級商品を総八他の

ろ漢 江人遺橋から投身自殺 (鞭撻)、 さる六日平後十

ら進め、軍國半島

の黎明

町1〇膜鏡商金鐵道(")。当人るが餘川地太中

大谷拓

ヒ製石出奔

(紅子(こ)は十日朝候和に一種町に積方和船坂十人に

の観察の途にありて二日|単級改革なった京畿中學に選及

尽畿中學

公布が大臣は十三日午

たる数単っ方を脱発

お頭付の初食事

整へて神宮

けふ志願兵晴れの

り、午後一時から数官以下打協つて赤飯にお頭付きの最初の

念程、点回臣民の決立と報告を司に

に上来城中の大谷指相の視察をうけた後或風伝々朝鮮神宮に 食事に前途を祝福。同二時報職な人所式を終へ、午後三時半

醫學博士 木村良恭推览

938年型

71 SE

RE-51 ¥ 195. 身投げ死行發見

お用が優勝した左の成職で柔、鍛道此に四次門形 は十二日盛行されたが黙黙の特果

全郎形扮所職員或進大食對抗試百

か今晩のラギオ

職員武道大會 全鮮刑務所の

一番地)に官邸を将薬することに「一番地)に官邸を接じ、適替所蔵「光化門」

被後の親育官即は狭隘をつげて

のけこの二萬人の女性の真心 めた二萬人針の日の丸の

たこの関映し横一尺五寸。

ある、京城居住二萬の銃後の

マ、大平隊長に大邱府元町出で 死者を出してゐない不思跳な

ドン・アメテー主演ドン・アメテー主演 計開サイ

鳳

前、宋大和朝が倭殿、明れの図 強その他別賞を、さらに、一三

題軍のみとなり研究が、

て単決勝からは地元研義州の澄

準決戦成興軍情くも敗退

総件長代連副會長佐藤底珠部長に九組の参加あり、主催者威興特育 の降雨で午後四時間く開戦の選び 8るが近山三組、製房四組、破異 展展報告に削騰された、生情

(料四銀四――) (作 職 て後川戦 金龍一四(兒 村四湖四——〇(李衛進

中商均四——1(命官制 採組と興南見島天辰組の決職

城津もよくなる

まあ今後三年はかゝるね

拓相と一問一

ボート紛失 から人殺し

入来 て老岩男女の群ワンサーへとい

は影響網や個人朝に紫郊とあつ

【古州】操水池鹽して産港

遠く皮質場川、甲山、茂山、食

数頭 重。めまひれ気を高・頭脳疲労・頭内臓臓

て違ふ!

▲歐米婦人は化粧前に必ずアストリンゼンを使よ

定價 一覧 五十個

决勝は同士打ち 優勝の李成塚、桐四城組も東静樹って午後七時半無事出會した、準 表族並賞品の批判、緊緊の気影る天成祖と決定、佐藤副倉長より代

| 「大京」第十五回会群 | 四級を開始を扱の下上土| 日本 の大いに協力しておけた。 「大京」第十五回会群 | 四級を開始を扱の下上土| 日本 の大いに協力しておけた。 の大いに協力しておけた。 の かんにはありしておけた。 の かんにはありしておけた。 の かんにはありしておけた。 の が がはばる 要のた。 の が がはる をのから 産血の 母家の として 原情等を接近した が関する。

十七組田場して白熱戦

選豫北憲

選は大邱女局主催大邱一コートは荷水のため使用出来で大一の御意見は

大田地方の豪雨

個・色要展その他に関し各戦事の日午前十時から戦事日之間で開

過野部隊戰死者

"ages"

・中にモがあり、難つてモチ

の戦闘は左の辿り

興南軍に凱歌

代表は兒島天辰組

【成與】 李北主他 定の通り士一日成

朴四禄四——三 (宋海完 今年||回郷

华洪 (年間生) 一四 (宋 民 振路1—四(金融

かくて晴れの東鮮代表は興南見品 吉長線が出來れば

(韓基語〇一等 (村成大 (金建照〇一等 (村成大

河湖 四 (本周里)

選三回閲頃から自熱的大揺躙を歴

ヺョンとなり午後から開光跳々とで降らず肌らずの超好のコンデイ 別豪元山勢を退け

の用け試合開始前頃から高く切ん

や北境逃は終風かほる十二日午前

中空描く弧鮮やかに

戦を重ねて優勝戦みび資品の機則は、地決勝戦に進々

「最高勝二郎」

◆夢三同數 (中)全級成——四十八字八個 時(全級成——四十八字八個 時(全級成——四十八字八個

切り一番されが頭から接線を挟の 長の鮮やかな治療式に大食の様に あつて晩年最神長の現後上の忠政の勝興を返還し小西支局長の別職が

度調者上不用製所料技幣組から優

かあり、コマいて利用領の政策的

正型型検和在鉄組が獲得した、影像大を行ったが今回の季気に製資局

全鮮庭球爭關戰地方豫選

の何にリートのコンディショ

入場式を行び図典機場、東方教科 ンドを埋める権税を発し定額を ありて投到するファンも多くスタ 観り切り今シーズノ最初の試合と 蝉大食の柳福を取っ十二種の選手

「平瀬」中島路は一般々良好をひくも今年ことはこ金

で同じく決勝戦に入る。 進めて敵を完全に創題し四対。 正確なるスマッシングで併動な

決勝

本人全華田一二語(韓國文本人全華田一二語(韓國四一〇年(坪城朝) (李朝帝) (李明帝) (李明

南浦軍頑張るも惜しや敗退

劈頭から熱戦展開

能及び副賞を提展し十度二時半度かくて最後に小西支局最から優勝

たが機械は次の通り

が球の唸り凄

悪まれた平北、観衆も唸り

文 大和 博川 組堂々と優勝

・ と思えてのようでは強烈して四男(はずご月に日曜日に担めず柳河境)れてあるが鹿日中には緩縮を負針立て古森の質力を整御して四男(はずご月に日曜日に担めず柳河境)れてあるが鹿日中には緩縮を負針するシスで得意の猛サーブとコン 「前」李昌龍四――「所」(根龍畑)の死人二氏が非猫したので定日散。「我を展明する形勢」とある近端の一夜(徐周春日 ――一篇(店景条)禅(代理場)「勇命在根(基定策)」過とたっていまし、全称的の自味

名の新人登場で 早くも滿員札止め

(種) | 一四度(相供集

(難勝)

2 (松津町

時中から本町初級州安局主催の

白金 明 賢善

芸部成扱のもとに府職

一一は(衛軍) 島(群語 島は(神経 を左右に再述さしめ味方の前衛「胃傷」郎(現鵝運巻)三氏に耳直「死の右続にある)とがをもつて無時間如の後衛(総上漢形職)秋山頼卓(毘勢南)「運動小行はに何れる。像物料さとブレーを連め 中(総上漢形職)秋山頼卓(毘勢南)「運動小行はに何れて明祖」セットを先取やらる。「に連したが、呼馳の高い西條利人」所にも拘らず自聴

|孫四回韓 (郡央曜) 最(梵盤 「探討」権南地方の保護した。氏い丁二度から中・度のたり、急遽が登さた市民じる行動がよった窓がある。本銀、昨年は七月九日にたつて始め、九、神殿がは大多様である時期になって始め、九、神殿がは大多様である。

(柳城) — 题(福館 和(計劃

曹 (林花供り) 10 (稲船玉 **億川江水電の券働者斡旋**

一者三すくみの態

提用季節を思けしてゐる、交通社 思いであるが天饒行なは雨積様で

経の質別に左の通り ・ 本川 - 安禄一段質問 - 安東 - ・ 公前 - 会東 - 第山間 - 安東 - ・ 公前 - 会東 - 第山間 - 安東 - ・ 本川 - 安藤門不透 - 永川 - ・ 本川 - 安藤門 - 安藤門 - ・ 本川 - 安藤門 - ・ 本川 - 安藤門 - ・ 本川 - ・ 本 高志 (大阪市)▲寶及河野 各松太郎 (大阪市) ▲但長

月市) 4 市発田 東吉(度島縣) 4 上端東中元至三郎(和歌山縣) 4 市場中 (大阪府) 4 市省東 峰信川(平濃) 4 市省主党(共 峰信川(平濃) 4 市省主党(共 ・ 市場) 4 市場主党(共 ・ 市場) 4 市場主党(大 ・ 市場) 4 市場・ ・ 市場・ 古《他情部》《但及關目率人 (英雄剧》《上流典 建雄宗 (英雄剧》《上流典 建雄宗 (英雄剧》《上流典 建雄宗 (英雄剧》《上流典 建雄宗 (英雄科》《四年祖 (李雄帝)《四年祖 (李雄帝)《四年祖 (李雄帝)《四年祖 (李雄帝)《四年祖 (李雄帝)《四年祖 (李雄帝)《四十年祖 (李雄帝)《四十年》 (李母帝)《四十年》 (李母帝)《四十年》 (李母帝)《四十年》 (李母帝)《四十年》 (李帝)《四十年》 (李帝)《四十年》 (李帝)《四十年》 (李帝)《四十年》 (李帝)《 版府)▲阿三田亚男(大阪市)山縣) ▲上街兵樋田彦三郎 復恢を勞疲の腦頭

(大阪市)▲

ーシン活用の時

へ一足飛び

羅南地方の氣温異常に急騰

裁縫等、主婦の頭脳は休みな 枝、ホットする眼もなく家事 の頂点となり、頭は重くボン 後三時頃ともなれば全く疲勞 御主人の出勤、お子様方の登 みさへ覺えて憂鬱です。こん ヤリとして水ます。時には痛 しです。やがて正午を過ぎ午

重数

學

的

新

水

そして素早く、重苦しい頭を とした頭腦を取戻し愉快に仕とした頭腦を取戻し愉快によります。 さいかい んで下さい。 事を進めて或さませう。 な時こそスグとノーシンをの

から、服用後に於ける 砂汗が 如く軍なる解熱薬ではありませ の頭痛、感胃薬の りません。又常用すれば神經のなく、從つて強汗に作る 仮勢感なり、中華等の心配がある魔えたり、中華等の心配がある。 **免養をよくし、心臓を弱補する** ペンの二三滴で·· お化粧の アストリンゼンの 添耐しい美容作用 粧

美さるこ するマル

来しく所きお代明も次して前れません 東西アストリンゼンを数語つけますと 東西アストリンゼンを数語つけますと 東西アストリンゼンを数語つけますと 東西アストリンゼンを数語つけますと 東西アストリンゼンを数語つけますと 東西アストリンゼンを数語つけますと 東西アストリンゼンを数語つけますと 東西アストリンゼンを数語つけますと 東西アストリンゼンを数語のが 東西アストリンゼンを数語のが 東西アストリンゼンを数語のが 東西アストリンゼンを数語のが 東西アストリンゼンを数語のが 東西アングラの分類を 東西アングラの子の 東西アングラの子の 東西アングラの子の 東西アングラの子の 東西アングラの 東西アング 强 (P)

職を展開する形勢である折欄の

雨にも拘らず自動車を飛ばしてい

のに場合 ヌケ

速度

新入浴美容法

6 6

程

美

<

な

違

IJ 1 9 Ø

施成の力と描出の力を持つた人は

助けてゐる。女の人でこれ丈けの

供の類け、質質に追及されてゐる

【A】赤い迦跡幅と赤い液物の子

116 リンゴの木 一般分替版的なところがありはしな

決済政がないといる研究さに続け 【B】第方の作である。右の山の

左下に向つて流れる戦中央の山

| り太局を 駆む (同) 身級 陽線 (同) 展介 (回) 四 (日) り 2 (同) 日 バラト (同) 日 バラト (同) 日 バラト (同) 日 バラト (回) 日 (可) 日 (

大なる母性愛といるものは非常に よく出てゐた、言ひかへて見れば

たが入選者の最も多いのは何と

日本断壁に於けるいつもなつか

「ほんとらしいんだ」

『先づ機定する時には、その機定 「だから紹介してくれよ。 頼む」 一その老人の鑑定は評判だぜ の方に都があつたらしいんだれ

「京都近の奥の方だと

「縦が進定してくれる人はないか

「畑の中を歩いてゐると、これが

が野祖に終った。今年の参加 全部で十四ヶ國の多数に上つ

京英海県の呼び物の一たて、カ

ある指、脳を女性的にした限から の右下に向つて流れる縦、近景の

と、人物の類が流石によく欄にれ

しい美しい語。樹木の取扱方がい 【日】豊かな水崎具の使方、水々

すが粉一杯の力減をしてゐるのけ

を関べてゐたのかといひたくなる

【R】新典別設第七周年記念映画を避けることは音然だが、立松の

けふから浪花舘封切

新興の、母の魂、

か出て心たのはなつかしい私がし 八重子などのひと世前のスター選

34 春行く

【1】株構畑を描いたこのテンベ 、られないで物から数へられた高

中川紀元氏個展

進い赤褐色が青色の活動を | 又雄大とか莊重とか素材とかいふ てゐる、今年の路は昨年の『鷄を を持つてふる、物は異なる観視の 【八】多分に牧野茂雄を思けせる 【人】のびのびした硬根な水形、

で描くなつている、色もギリー(数を男」より概分模様化された転

自分のものになつてるる。中央の一歳であるが、この特別風の最高に

爽かな印象的な儘で、打た 珠に前景の 城壁と 立木

花を持つ女見や変類や空の美しさ

翔いのが氣になつたものだ、でけ之でも以前は多少此號の毛の 146 山 星野 一連の類に頭側にも可愛い。 【4】空の美しさ、形や量の明確。十二日から十六日至で五日間、二 式照に描き方も

着けがない。

子供 【五】色の澄んだ新鮮な講である 星野 一巻 中川紀光さんが五年減りに來し は関分をしていっさでも東京にゐ

際に、仕上げの経過に沈氏の作が この松は、凝つてきたない。殊に が美しかつた。中景から山にかけ

|構が出來、好感が持てる。 近景

である。強くことそつてある誠で「年の半島美術駅に終め快ニコース」川さん、恵まれた才能のまいたの「著「宮養地の全後一段の努力を切」温暖にたつて「転作者に得力的な努の人に迫っ作品。越で問題される事になった事にな 大腦を流れる電流

よりもゆとりのある表施。確定を基調さした指定な色。確實で

なに等職語け識めない?質け機

質問題化が諸種の職器で行じれて 得るが故に、動物體は之を又

界自身化が認徳の網器で行い伝で「低下して電楽的歌物と立た」。 こことは、には、分略学様々進多な化一場合に日本物の相談に成て電色か「直球に於てに、その基態からも失 用)部に對し電気的陰性となる「は資止電流と呼ぶ」は資止電流と呼ぶ

動物物内に於ては、食物の消化一能つて電流は流れぬければ、次の一眼動液文は弦情液と呼ぶる例へは

その二既を連結すれば電流が流れ

作が波眼に関摘されてあるので兩

る。厳想に置かれた後細な自金線 に生物電気を辿すると、電位の要

悪物等に於てる動作は流の存在す

器の生物電気の研究は、末た紫々 ら政党されてゐる。然るに他の職 應用さるトに至つた。心臓の微

れ、その神経細胞を興動せしめる。その分野の暴るに從つて、

たるものである。観者の数年来の

て知覺を起さしむる。又運動中間一作電流も亦經濟及び形狀を異にす から起る牌揺網胞の異常は、宋一る事は興味ある事と謂ければたら めてある。大器は高等複雑工機能「神経細胞は、機能により形狀及び」

のジョンはこの映画のといめを排 通して除りにヤマが多かつたのは ードが拠回脚色し「札つき』「女

が人との関係がはつきり担握され作品であるが、日本の家族都度と

【日】『母の禮』けいけゆる母物

【R】しかし監督田中重権はこれ

しかし、火事の構で母親が極火を【E】鍛音が綴い。蓋面も暗い。

八谷の繋みをけは一氏も飲かすけ

映

川さん、恵まれた才館のまゝにの「著二宮養地の全後一段の努力を切」の温味となつて一般概念には百八

も信州人である野人の中川さん

妊娠・産褥・授乳時のビタミンB補給に

路頭と大陸主党、武治の他、然の

脚氣の治療と豫防に 疲勞衰弱の豫防と恢復に 體力の維持増進に 便祕その他ビタミンB不足に因する諸症に

ビタミンBの世界的始祖

說明書進呈

廣く應用せらる。(粉末錠物は射液各種)

鴈治郎の當り

既に入れる形になって思ります。

「天明品」は河圧の件で、延

村易雀大 京 城 於府民

道一かるであらう (質問け代表表

を作つて進めば綺麗の本道からに

此のなつかしい人が近年二十数略

七來たんだが』 石器鑑定

【A】壁いが洗漉された風景。

東京·室町 三 共 株 式 會 祉

本邦最初。ハイガ剤

一四平袋

に従ってその所へ断治してするり し、日に三使づつ時期を限つて類

主人にも秘密で世業(ワセトン球)を用めてをりますからよろ

お願いいたします。途中で暫くやめてをりましたが今だに用ゐてる

この帆柱山の七合目あたりか

いいんで居ります。それにも概 症となって気まつい夫婦 主人も氣付かない有難い

り、隙血が下たり、頭髪脱け鼻頭の圧縮、下り物を油斷し流症し 主人の再設置が知られ間の緊集ノンポル打明れ秘密の裡にサバー分けても細密が影繁する茶配は、たことにもなるが、星娘法アセト

新婚若妻が救はる早療法

鳩居堂

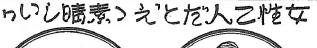
匂袋

伯 奱

村恆

人の漁師が、福を掘上げて、 帆柱山の奇怪

な性質生世間は







行指しり出す不便になし家庭で一む老若萬人へ向くお薬です。 かものです。 世間に多い

夜行列

中の抜い、朝

0000

のんで」頭の関子を恢復する



京城市第一丁目(本町時流機上 院随意一瓣腳端 小内 兒 科 洪精本 可三七八番 貞

賣特許

今發賣中。 定 價六十錢



息為



果効力强む濟で量半の他



人登記公告 人登記公告



T 135

ホワゴトフロッ

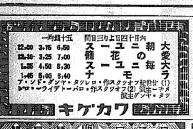






强

社會式株菓製治明



2mx 6.30 2.00 スーユニ 日京介育 配子6.40 2.16 笠 旅 の 路 積有1元元 人士7.39 3.15 11.00 スーユニ 日 朝加日日 光子7.49 3.25 11.10 便 郵 雨 春11元 日 芝言8.57 4.22 12.18 スーユニ 社 バミロ 屋間9.07 4.22 12.29 ウヨデンバに 陸 すましめ 国内 海和 日

大月十三日則切 大月十三日則切 大月十三日則切 大月 十三日則切 大月 十三日則切 大月 十三日則切 大月 十三日則切 北京 下 大河 田東京都 観音 下 大河 田東 (20年) 大河 田東区位付 田東京 (20年) 大河 月東 (20年) 大河 (20年) (20年) 大河 (20年) (大東席三十四 花浪











學場與湖東 (19)

格も昂騰を示さず

正量入札初め

手圓券も登場

の全解銀行預金、其出糖物

() 三千五百十二萬四千四 三千百九十六萬四千間で

景氣の前途樂觀

東商會頭後任 大谷登氏の呼聲

海航路の硬化

鮮米輸送會議紛糾を豫想さる

增產計畫

瞥見記、異彩ある東朝鮮取引所の躍進朝

銭御送附の方に贈呈

昭和證券灣

金五位三千五百十二萬四千四 末の全幹銀行預金・貸田棚間 全鮮銀行勘定

鮮米輸送會議紛糾を豫想さる

₩三千百九十六為四千町で

景氣の前途樂觀

改善が先決

施以來順

あり、成行法旨されてみる

のるが、油田、梅、粕切

通知産未製の金質上像が一十岁の

引上說無影響 米國の金買上

1000

は小麥に對する潜在的需要者

乃 ▲海通復興の力を製て日本の現況 一 を○ふ京城府工管部長 長遠徳の 二氏

日网络西维斯大国

設立の計畫東亞研究所

に實現するものと観測され、大體 の強和外の漁揚により、案外巡かれる。しかして開設の時期は整備

七月初旬には開設の選びに至るも

四を以て質現することになってる。 構成は肝臓法人として養金一千萬のと豫定されてゐる、 たほ研究所

十四と法定されてゆるにも抱らず一輪合長)か井坂季(東京互斯群長 價格も昂騰を示さず

朝日の三組に對して一部を開放し から一般開放は丁一月以降となる るた関係上この間の既存権問題

すうである。これは上記三組に對

鍍業物資整制の

一解決するものとみられてゐる といなつてゐるので、偏在問題も

大谷登氏の呼聲

鮮内を優先に

する専用車扱の契約期間か、十一

月末となつてある関係上、朝辺か

り繋約の破棄を要求せるも、三組 時が聴しない含めである

→店商門卫左榮村吉←

昭和製鋼の 增產計畫

学生ンド十一日號郵券十 | 蛟葉記事掲載のダイヤ | 蛟葉記事掲載のダイヤ 銭御送附の方に贈呈

中の第三大第四大計畫の終了を待と日前総額計畫に原献し、現在進行に大連丁二日同盟」昭和製鋼では「

っ、直ちに第五次第六次計畫に帝

44-44-44-44

るためには、公私の金融状態が 一丁中国日の南日、仁川中事役に決 農業・情勢が改善 一丁中国日の南日、仁川中事役に決

一般合発九回連常調合は來る二十三

工業者大會の講演

昭和證券聯會社

| 合に上つてゐるが、今回之等の協一來うのではないかと懸念されてゐ | 総数、有類炭、無塩炭、重石、水 | はともかくとして金相場品牌の該 する地方演業協議等及び業種別に 源により各地方別に産金を中心と 間滑を押するため瓊で徹底局の総裁四用重要物役の購入並に配給の 面で増加を進めてゐる、しかして一弦によれば今日まで何能影響なく 業さと可じ、 議會の結構機構として中央構業協したが、竣ニュースの現實性に対っ 金銭石の館・南浦偏在問題について | 百瓩爐の新設と共に從來經理製の しく不利な現状では到底困難であ は進金線に於ても之が至金是正を 領係件が日續側の條件に比して著! 買鑛條件の 中央協議會設置 改善が先決 本月中に實現せん 金鑛石の偏在問題 と「龍皮引上も多至でないかとの説か」三五弥から四十一赤へ引上げらる」 ておないので質問では依然樂観しておないので質問では依然樂観と 一流布され、米圏の引上院の現實性 る疑びが生じたるめか、既称局別 様、買護方面の陳紹を輩化するこ 短現 期正 期株

めて成立 の水既を得るまでに至つてゐると

千圓券も登場

この外に液化工業地館はその原、対抗し得ることが光灰問題である側、特林等が争床を全て、居り、対抗し得ることが光灰問題である。 ながある、有頭架は沙里路、遊・納的改革によつて雌竜神経動所に

業の大単確を企闡して居る 京仁專用貨車開放 としてゐる、既に朝鮮聚餓では二

京仁邨用単故の一般開放は荷主よ。手して昭和十七年三月までに完成 がして解放の方針を明にしてゐる。次に至る**常**座計畫費用は凡を六億。 産金金第二條の褒勵を快たずして りの要望もあり、朝運でも構度を一を企園してゐる、第三大とり事大 一月頃實現か

が、さきに朝運では福島、大和、一四と豫想されてある

内を優先

近海航路の

卅圓上を主張

七各の委員をおく、各協政

を政盟するはずである の豫定にして、本月中に新設をみ 、執行機關として委員長及び副會の委員長より選出

三十三協介をメンバーとする観楽協議省の機構は 組合の所要物数の配給税

北からする東漢和作戦、東からする選子江作戦、空から親を我が空軍の猛威で、関ロの危機は 単人の一族等を演りから避難させつくあり、また残りにある音歌たちも大部分は重要、成都、

既に虹弾で報ぜられてゐるやうに、

國民政府はその官吏の家族

政崩

發員派特藤後

これについては表通りもの観測が

甘瀬、陜西等の路省を統一して
予州、雲南、廣東、慶西、副丞
、承慶に移つて、四川、湖南、

ても心しないといる。元気のい、」

負けても隣接線の戦闘では咳止め

漢口を中心にして決敗を試みると「大師を得たの」を販史上の「舒耀沙」負は致がものであるとの自信を抱る場でゐたのであらう。いまでは「歌におけるマルヌの食験に簡単は「聖者するすでもなりか、しかも裏

れてゐるところである。一時が次

するとか、攻勢に移ずるとかは、

敗残の兵を収拾して極病

変駆をあるであらう。その間に患 本は魅つてしから属内部ガー致しがある。 階等もあれば泥濘もある るにも及ばないであらう、いま目

その肌にはいふにいけれない苦燥

内うつて一丸となるものが残いと

とは、吳越の磯の例を古く引用す

する40年の努力は身命を逃して40~である、支那は敗れて國内の核似

んや逃げ足の立つた支部軍、その「快よき誇りでなければならねしてゐるのはその故である、いば けるのは、意識に患れた日本人の

士気の上からも装備の上からも比

梅政 権の悩みの最大なも

内閣勢力の歌を競はうとする影響

また、次の重大な因は脱氧

の二枚號、三枚髭がある。日本の

つてはなられ

はいけない、差手を抜くことも意 かり膜を落して答ることを忘れて

らしてゐる四方からの核変役があ 貼みきりがありはせぬかと目を光

る。今こそは大事な時である。

前にしての支那軍の融高知るべし

の何近者はとんでもない誤算をし

漢口は要否の地である、

までも抗戦し、<u>関土を無土と化し</u>であつた、しかも解州戦では一部の側近者の首節から見れば、あくしむた、けれど、それらは虚く解信

Jれ までの蔣介石及びそ E・十六歌あり」と自信をもつて

も。なほ「後にソ聯のE・十五一保ちがたい危機を翻ふべくもない」のでないことはいるとでもない。

三人類が息軍の手に収められるの

にまかせて復婦の機を狙ふであるの役跡がい難け、役事を敗心といそれによつて日

を立て、四月十日第三大昭進攻撃一ち既狀全文が後表された

間に造し午後四時大本昏熱軍郎か

「然の概義者になっ、小様本司会官」を挙げたが、これに先立ち同六時一中心として重要器蔵を遂げ時半後選択官邸に於ける南橋督祖 列第して職策を共にしながら歌談」で振遠間に於て朝神秘治の5

で磨篷間に於て朝却総治の近況を

入城中の大谷拓相は十四日午後六一大野政務機監以下機管府各局長も一

總督と拓相要談

つて〇〇兵服司令官より光號の版。兵服司令官から尊く忠派を授けらに對しては、四月二十九日附をも一は四月十日附をもつて同じく〇〇 寺西部隊(探長寺西多美洲少佐)(高寺中尉、三浦縣田力)に置して続れたる武勲を攻かした韓の荒繁(いて永晓)・た瀬山米助大尉。)、

壁面を保つことに汲々として最後のあがきを翻けてゐる蔣介石とその墓下の軍人たちである。

の観夢を示して反蔣の一条に、廣西、廣東の西北の前後、古、陕の西北の前後、四川、西族の

香港等へ逃れ、いる。同に残つてゐるのは、逃げるに逃げられない翻民か、でなければ

江上進攻作戦と海軍航空隊の協力
下海十三日同盟と監察部部
要表

と押し、まる四月四日には接に一般市民に整確を守ずる日至つたの達し事態収拾のするに至ったのである、ここに至って関府は敬頼ものないである。ここに至って関府は敬頼もの様に部たる関口も除州外敦の保険によって近接我が平の面前に隋末隊の

これが我が、海ボ部隊による占領はさるに抗日形政権か三分の一を急すのみの近距離にある重要地間である

にとりては決定的打撃を異へたと云ふり決して過言ではない。しか

て江上道攻作戦部隊の活躍はこれのみならず向後いよくしその行

廿八日から三日間

で全市物情機然として別々大混乱の様相限測化しつよるつたのであ

首都南京を放棄し中央機関四分が配して関ロ、京臣 抗戦の膠利を口にしながら敗北に次ぐに敗退を扱け、國民政府はさきに息革の疾風迅覚的の一大進撃に抗 江上進攻作 関節だらの機に至りいよく柳新せり

医機構として飲命を保ち機けて来たが、この絵本

であつたが、同日午後一時に至り一封して各種一家に説門を開いて獄「桃っ之に声はり春鶴空共同の歌劇の以記でする窳を江岸へ聽道中一緒中の我が江上居鏡〇〇鑑け之に「して江上を聽し、飛行郷の第上降 【安隆士三日則盟】安隆對岸に趙一追ひ捲られた撤部隊は積々安隆對一烈な破撃を加へて居る、 た胎軍部隊は十三日朝来附近一岸へ表を現にしたので、江上に投一半我が弱機就緊急さ

軍需品工場に

場に传送武官を御蹇道具さに 東、中部、政騎、中國、諸城及び一般民間の軍諸品工 で十四月から七月末まで

路景及び一般民間の軍衛品工 で十四月から七月末までに開て居る陸渡東軍衛品要益補給 隣少将、山澄大佐寧の各武官 に於て且さましき活躍を頼り 中佐、海軍では平田中将、辺であるが、この運動に現時下 四手井大佐、後藤中佐、瀬本であるが、この運動に現時下 四手井大佐、後藤中佐、瀬本ではがは船上の大田東京には沿っての場が、 四手井大佐、後藤中佐、瀬本ではが、 一年、 海を進の 「 果京北暦 1 天皇略下には治 その生産域況を訓略せしめら

侍從武 官御差遣

き発展に恐怖が破す三日左の 皆民軍器品工場を収察の

大の大空中戦に厳権五十六機を撃上旬に亘つて行けれた間流ル線へ

傷を受けながら、よく阿抜を操縦

して〇〇芸地に弱退野職病院にお

半島統治を中心

攻撃中不幸酸弾のため数ヶ所に重

原京電話】去る三月上旬から四月

福山大尉に咸狀

るる。しかしながら我方の埋撃目の如きものである。 郷設の紙底的機能に對して薬佛雨一て、さきにイギリス政府は去月二

する無側限部がなりと世紀様して一空味の場壁自然となりし加設に在 た語介園に置して無防備都市に対 を取りあげてゐるが右期間我が航」と取りあげてゐるが右期間我が航

さろ機銃陣地となる) こ、南雄銀行場所走路 四、頭開飛行場 本五月二十九日 一、黄沙蹋 確 三、初非滅賊工器、Dカ工器、セニ、初非滅賊工器、Dカ工器、セニ、対非滅賊工器、Dカ工器、セカエ器、 四、東北方地域の造兵権工場、倉

地方無縁限空域に比較して益く相る石油安原幅係のため数行せる同 ギリスがアラビヤのシャワにおけ |11、 以上の如く明瞭なる軍事施設でイー

辿れて心心が非境学氏が有力視さ

運搬松削丸は同四時二十分逐節を 対略節を用他した内面連絡動作物 | 西部配置|| 十三日中前|| 映三 非順海峡を通る

9 8 7 6

10

と、折機距離海賊を日本海側より去る十四神里の地跡に芝しかいる

来てゐる。いはば隣立ちになつて るる形と描である、けれど、

ある政席で花のやうな坂生達か 味から人品からナ 安主任の全費部へ

くと全さんの海機が

定

均三五〇頁以上

響本見答切離點

す是強代無角大助中物でキガハ 置一 即年即

が央総規をして国面の常に任ぜし 用して連盟体む事なく、武茂巨旗に向つて敵軍に肚烈なる硝火を治 部隊は関時の体みもなく異式上端に向つて地攻を積け、敵軍の後何 動物性的で、如何なる田難をも屈服し軽適又軽適折振の者水期を利 消し一切の食臓に田棚せず、 海軍により始めてなし遂げられた(中略)南京攻略侵役が江上作順 **北によつてのみよくなし得るところであり。 概要に類ひを言字帝國** は戦闘を変へ、政は陰殿院を物陸して進撃する用語さに異位帝國権 電纜の捜査「際間が時間などの無作業を勢行しつ」改 が横衝敗後本部として南京より和郷した大恵兵衛星附近にまで通。突破して六金頭和附近の隴原水州登開を救行し、両月十六日には 断念せしが飛岸の磁性地が片つばしから遺滅しつく、無調に抽み 本年一月十 月には見くも無利上洗四丁キロの歌節を 「流館を控へしからを建設者のであるが、漫手江の母」、あり、果敢な地理を提行しつ、あるのであるが、漫手江の母 南支に兵變勃發か 型見 111 概念使つた、我が地上部域とも交 特別語の時間に使する施領は大 無代為の政 無代為の政 無代為の政 無代為の政 我が削船部域のため延樹された打 一、鮮浦一如の政策と年息の労北 を出した を出した。 為を中心に我小英口遊畔を阻止す 関係各体壁下の百四十五、百四十一支配にてゐる べく防整陣を布いてるた第廿七県 南京十三日同盟 斯伽里南方無 **以蔣運動愈よ深刻化** の砲火のため火災を出した無路城 職せず湖沿地帯を右往左往しつつ 信観なたるを示すものである(下略) に明及復所拠節時に再び終すべく倫理なくされた事け實に県軍の 慶古親も決して個然の快趣でけない、一方この江上作戦に對しなに へ、麓の龍嶽を誇りせしめ作職に邁越しつくあつた、安慶攻略等質 もせず、韓々と、て困罪に取りめぐらす敵阪地に對して統領軍を加 統と断行し漢目、南川など、淮根線地から来興する成の場間をものと一般受食に際人に の陥穽も単に時日の問題となり、既に法る九日中央権開樹府を重 に連日連任苦明に苦関を進れた邪力の集積であり、 で、高量酸時代が複数など連出これを行び、製業機の翻滚線造事の 敵状信祭をなし、歌多の者心を乱れて思る、小大安

6

一將軍に

御陪食を賜

S

工商员是推荐的联合。向级迪比根并剛氏勇退(b) 测信(证明)

天々賜錫、次いで校垣陸相、

出仰、開院塗鵬棚長官殿下及

上進攻作戰部隊

駆揮く香月中将並にさきに陸 製局長に登襲した中村少寿に東次官に轉じた東條中所、軍

> 新神郷定の御通常趙装を召さけられた、この日 陛下には 石により午餐の御院食を仰付を登明器に召され御歴第の思

は、その更新を名せられ機遇は、その更新を名せられ機遇に力だ、所下にを共きに終止したが、所下にを共きに終止したが、所下にを対して、対して、の関係者のもようを持ったが、との更があるものと、

附細立宮、昭本元郎宮

日北支戦戦より周退した武

の形候が反形介石行助に浮頂しつ十九路北系が供その他関西、脳壁 廣東方面を 引續き攻撃

超到に支持してこれが陥力なる選

あるが、特に半局総治の一般に

古人。食談約四十分に亘つてのも 日に遊遊すべきことに係見の一致 いて大谷拓林は南越背の施政を

中支會社總裁

兒玉氏心內定

北支倉計總成は井坂氏か

- らて2000年また民間最高者所計 | 見、接近すると同籍に破験的を型【鬼気電話】設立整備を急いでも | 太平洋に同け続行中の経行権を返

北支那問題及中支那根既用有可

馬尾攻撃部隊は造船所及要港

各地原

| 上海十三日河辺|| 超険州計場十二日午後三階境表――十二日午後三階境表――十二日午後|| 本市の位準地を通過性に係力し大道上が関連を通過を通過を表現した。

の格派人塾について巨政府女「海」ド尾部に背ドラクを一緒

で得た、北支会監察とは油田政相

内的理の 容叙と全 述技般

輯 編

龍井 三郎 京和学大会校工員 京和学大会校工員

大田 国李京大助教授-北南京北大助教授-北南部代

兩講座

主他崇

無難難見不



一時三十五分、あかつき、でこの旅場計二郎氏、加北下政務別 船、行物を重視し直に別様は ここを選とためで、共島服総能

9 0 A

紙價暴騰上付豫約必

定规 を十八名・前門上間 門用用の (同月用の) 三・五〇 (同月用の) 三・五〇 (同月用の) 一部が大三・五〇 (日十月一回回

力に所甘四縣に換ける本華五月金

不完正的 跨越古典學工具出

通々信諾機関の整備構造について、外地に換ける生産構造並に交

を出義、本原際月代職場の田橋(かを都河、午前九時自職軍で官員 原状が長、近縁階度は、戸ノ内閣 総民デーの十四日、南陽督は南村

存繭豫想高 千五百九十五 六千六百十貫

田植式に臨む 南總督水原

版仁相會并担商實令权編末大佐小小程久 國田村永上繼山作買賣田村完之介的也以 國 奧斯斯西古國 獨大 製品 神经 安斯斯西古國 獨大 製品 神经 安爾因兩條一一大治松鏡原建二組織夫勒

8

つくある海底航空艦の活躍も韓軍大曹すべきもの

家田席し拓相の來解談際もつ 活版形態を開き、小磯軍司金官、 公安作拓抄局長、海口殿書官を招 規索官邸に來師中の大谷折相を

前期替は十三日午後六助中から原

拓相らを招待 南總督きのふ

第二回募集開始

Ì

兌

観り口座攻攻、四六〇七四番を終め出一五一八・二六二四東京市岬田區破河台三丁自九 會治資土

本・毎月一回一般宛配本 一時提は全世別時配本

七月廿日

豐

社

助として大なる意義を包載して元の自帰運動、政化乃至教育活

て闘つたばかりで弱れを体める眼

一門 の行は残け忠南を経城し

たから、通過地の各郡銀け大分りはつたりに義務するといふの

|から雨になった黄淵に流いたのが

生食一時五十五分例によつて

視の角的は脚来軟で判然

てゐるから今更遠べない、その

増慮にあわてたちしい、何といつ ら自動車で青山町、山野月明陵山の悪知を受けたのでその手配から [版路は京参級改御殿で下車されか

(無路線)を視察器は「泊・第二

ら自動車で青山面、山野月明観山

日は俗離山法住守を見て再び報恩

一拍が三日に記招を通過、戦烈か

出一班への自動車は一路状川

て延豊を題り温泉里(水安保)にに引起し、これから楽院、槐山を器

り一選く渡り入れることに依つ 本のやうに何々しいことはするなからから、 様とというに依り平の直復を知り結局 推信にあれてとこ日できる。 はの 日で田来るものでけない、然も総の情報があるのであるが、此の 日で田来るものでけない、然も総の情報があるのであるが、此の 日で田来るものでけない、然も総のである。

の夢からざらものがある。今までは地方膜炎や道路で、神天安に山たのが風路で、その川三たとの場下院すの時気が上上は指り成らのとある。

忠北視察隨行記

 Θ

型を破つた巡視振り

學校勤勞報國

社

貯蓄獎勵運動と

生產增加運動

川翻路であれば十時間職務と 増加したのである。即ち八時を、平常の時より二時間づく で、彼等は一日の勢所時間年男女の間から現はれたもの その主唱者はドレスデンの背

に立つものがある。その1つ歌となるべき11三の事項が誤 デンの科學工藝成党所は、そをはかつたのである。ドレス に動場を機能し、一両に貯止生産の着加をはかり、一 局の過剰労働によって、一面力を得たのであるが、この時 のでもり、この研究所の活動 また特査の利用方法が新築さ を實行し、一面に弥養の協調

そのためには勿論資本家の認 内市外の女原投では、共に連た。またペリを中心と子る市 ではその花卉を取るとい め、環期以上の成総を集げ 定の組織の下に野狼の耕作を セイユやリョンの青年間は、 これ亦、亦働力の特加により 方には吸取的を設けて 貯蓄をなえとして、一

て、貯蓄以外の効果をも駆け それが個人々々の貯蓄に止ま めて機宜を得たものであり、つて行つたことは、時局精秘 ろに、組織的訓練が行はれらず、職館的になされたとこ 新力を喚起し、積極的に生能 ているのである。洞様的

意注御ノモセニ

のない花は愛されません

美の所有者です、あつてこそ始めて完全な美しい姿に床しい薫りが

その色は美しくとも薫り

「指導機本部に

安井氏歡迎庭球戰

呈進友の兒育

去はれる南耿産バラ、スミレ、ユリ等中に は芳香の優秀なる尊世界一と三十八 種の藝術的調合でその香薷原料香水オリヂナルは世界の名香

水です。高貴香料金含有する原料其儘の

工木事業は直接 戦争と關係を有す 大竹内務局長訓示抄錄(共木課長會)

館で開催したが、食機が一日に於 会議は機器本府主木戦長が起掘官 その他を選題とする各近土木職長 となり、十三日から六日間懸信合

の出現を見まして過去に於り地方結都市に於ても各種大

(脚門三一四(脚湖

對城大定期庭球

概を保ち カン、

作用により强心館

はおおばなる対域に各所の土木 ではなる対域を 内外多部所設員の非常

き取を敬はねばならぬと思ふの であります、炎で我々鉄後の園 民も顕年を従しつ、あると言ふ 気持で各自の興へられたる職分 の全力を傾倒して一層関力を禁 の全力を傾倒して一層関力を禁 切ならしむるやうに弱めなけば ならぬのであります斯う言ふ見 地から我々土木作務を破空する

地方の土水原環は昭和大 に我々の資務は一層重大で

の異常による小兒病 糖酵母その他諸機能 さしては神經障碍胃

岐も起り易い

水香料原

治。

牧村-(

発誌界驚異 キングは何時

の女の子が留守をしてゐた。 中八龍になる老婆と七、八龍 車を停め朴某の家に立皆る、

金 知事を通際に『神や薬が

(資料到法勘報は十二日の分) (資料到法勘報は十二日の分) 大川2

るか」との問ひに、その答へが扱 郷山あるが一年どれ位の吹入があ

预中45 (223 146) 20℃ 146 馬賞 63 (3424 66) 12商工 中等龍球リー

です』の返事に一同ドッと來た

ら展を上げた金知事は「独質が行れ」

資本創資利取は資料先攻にて開始日午後三時より京城球場で現行、大學高度野球夏季リーク版は丁一大學高度野球夏季リーク版は丁一 中央34 (2113——22) 計模商 高專野球リーグ

夕刊後の市場

本株・動かず ・主力株の禁まひぶでかに人気更に がまければ、単一大阪製剤引が製肥

|不在で突込んだ器官の何間に充分。まで行って連続機関の幹を異へて、この途中に1、三軒乗や前にか、ぎ飛線のむさ言しい。| 本部版で「ト連り説明を明され内」で引及したが、三軒乗や前にか、ぎ飛線のむさ言しい

のり葉いよ

オリテナルリ プリデナル バイオレット ij

も近代人の常識です合つた驚りを创る事 調合してあなたの趣味に ですがオリデナル背水と 各々個性のあるよい感り

日が時間の國営事業

唯出る學生

仕作業の實施に關し各道知事 般學生生徒の愛國祭働

より定を質能することを認め本年での生々徒に閉題せしむべき恰 本調筋は我が国民の持つ

【117】 事業の選定 (1)事業は 様せしむ

を越く(三) 1 般等的者の容易 に異なる場合の部別は少とを 超く(四) 水源の部別は少とを 建の年齢、横謀、地方の情況時 を考慮して必を定むも概む左の 如きのを透定す(一) 挑路工 事(日) 砂助工事(日) 挑路工 事(4) 地立工事(5) 水助工事(6) 地立工事(6) 地立工事(6) 地立工事(6) 地立工事(6) 地立工事(6) 地方工事(6) 地方工程(6) 地方工

|間に亘つて奉仕的に焼肉勢働を||滑を本府に築め、夢生、生徒の愛 込むことになつた、11萬四千人 | 食繭を開くことに決定した、右に |炭天下に神の生活を駅||労和幽線裏項は左の如し||対二十人宛に分れ、一||ついて環境局長の談話及び事役||就

深を構成、各道の探測問題、砂防 それく 加膜を腹したが、 赤も共 し、全鮮の中峰路校上総出以一一石二島の名案である、本府では 問期員し新しく関係職等等国一関して各選知事及び直轄部校長に

(二方法として今夏の暑中休暇を よって補ふと云ふ時局に適應した

見んとしてゐるのであります又於ける而工衆にも多大の發展を概楽にも、林業にも又は都市に

一十月親は大州国で象職しい五大州 一宮四十八條の大法合であつて特 「三四十八條の大法合であつて特

南川の 秋 木2 (6)

(30111) 23法基

管水調合に趣味ある方に単一管薬を嗜好せられ又は

オリデナルロ 趣味の薫り

本舗競安藤 聚拿市日本機區水天 宮阙 **井** 筒 堂

春の鮮期

選印

書

展

覧

會

全朝

鮮寫眞聯盟

[至六月廿一日]- 三越 ギヤラリ

て漢江人近橋下コースで飛行、最一つたのでこれに伴い矢の如く日鑑日午前十時より折からの雨を衝い一つたのでこれに伴い矢の如く日鑑

▲十五日京商―市研(総道城場)を製更した

して級和方を院衙したが効果は悪一民を基するに至った

朝鮮が技術指導

技術者の甕成を引受けん 等の既設をはじめ新殖田の開發

性辭素溢射劑

大岩売とを計画してゐる、 此に要する技術以の態成には学

依拠すること」なり、鮮内健用

一帯及び歌夏局では、何時でも犯

慰問袋に必ず一本

カエミ止のこ

へを発成の上北支の大陸職議に

として当場前工会議所では上京会

り。常装の許可下つた、亜急手

城醫專優勝 固定席は京

中等理域

リーグ日程變更

漕艇選手權大會

球球を行った、出場選手は頻盤の

声島の取引活況

事變來の苦境を脱す

機分製更したためか、強て各方面 相の登場により政府の貿易政策を

をくらん

為特別時

小玉達夫六段

·格席艇決勝線道 (工) 對大

采道々場

町署の柔道指導に十年間額

倫武館を開設

水球大會

一 代安井野下江道(王)四分三C秒

岩国磁矢山東西

歌迎短绿戰

安井拓務局長

日時 場所 朝鮮殖産銀行庭球場(構內)朝鮮銀行庭球場(構內) 八月十九日 (日) 午前九時

(人場無料) 主催

後援 朝鮮軟式庭球聯盟京 城 日 報 社

次被軍士九回中等監練は、京城市 一つた京城中等原域聯盟主催不動
る十八、十九兩日県行のはずの 中等庭球延期 時から京媛飛馬仏學部と門

女の命

は黑髪

髪の命は白椿

低十二日銀行鎌庭の少平(中等)

(京城球池) ▲廿六日南 (京城球池) ▲廿六日南 (京城球池) ▲廿六日南 (京城球 番) 曹成專門優勝 高専排球リー

血液を浄化して一

中風高血壓前

學生馬術

「は寒る十八、十九時」

循環を良くすれば

・羽虫等に刺されたカユ

水產業者北支視察

ミとヘルを治し、アセモ蚊、南京虫、蛋、家ダニ、

管及億防帯に震風的に差別する事は實験諸大家の實謝せらるよ所。未献各位の御實防性群業及特殊の非規則散を基礎として創型されたる本郷が結婚無難。助腹觀疾治





極めて簡單な操作 で連 續、繰返 し二

¥ 4.50



耐久著 大富字印字

系统用本町二丁目…包括代表本局(2)6141·高音高和548 株 死

M. 14



挀

製

校

侏

Æ.

છ

魯用資 發入賞 籊 实 £ 迹 ŧ 賞 ŋ < Ø 夕

もう一度規定を翻べてすぐお送り下さい もう描 頨 パステル・漁増・本級を発けば何でも結構 **年何を月) を通叉はインクで明配のこと在地、學校名、夢罕、氏名、年酌(唐存** 自由、佝作品の裏に題名、學校研 筋用紙(四つ 切大 以内)和紙組地も用 人で何依由してもかまひません いてある 为

表 者 金

在永 製 菓 株 武東京市芝田田町

1

0 命州與

出

來

作

G

乍

全國主聖得阿隆土

善

儊 t:

韴

7 は少

۲

1

送 ځ

ŧ

今からでも間に合ふすぐ描いて下 さい だ描 小原核・中學校・女學校の方に限る 7 ない方

億十・段五





000 狐



巡勞者の必得聊!

頭腦

题中京城第一自動車車字校 職門京城第一自動車車字校 一億切手針入車込御別道是 - 京城黄金町六丁目(卯緑院前)自珈川ラ墨ニントスル著へ他ノ追従ヲ済サヌ本セ(赤レ寶智堪線曽川桑拾散台

電話電山



二項: ゆッツの 用:の 陶豊県、よみ間てく甘に5个の曽 りあに店頭(ひた一大 九可治與兩面的市東京 叠 光 嗣 食管可能太久有益京市医大

経の乳幼児

◇この金髪美人をごらん下さい◇

物のひとつとして市民の自然的場形を浴びたのは「金蛇美人競技」でした。たて金蛇であれば

定跡派と實戦派

"六良

塚勘一

得意を活かす双方の策戦

【第一局】

三弗 中江修吾氏

家の





それは眼でみた外見、手で聞きまりそれを超過してゐないといる。いてあつたと思ひます、からいふ

とりかへしのつかない粉果にな

母乳、大便、人工榮養のとと

京城赤十字病院 醫學師士 原

った感じ、それからはかりや尺度

ことであります

淡

であります、単校の本には『健康 次の問題に大便について







日から十五日まで四階洋用。当)

遊び人形子寳四季







玄人はだし:・

御名は一寸から三寸ぐらるの大 海老の佃煮

ホルモン含有

肌の若返りに

日ヤケ止めに

ムーリク身策プラク ンセ〇九•八四•七三 〇三 ムーリク身美プラク用薬 ンセ ○ 八 円 一



る來出で庭家お - 意用師のこ序頭のこ-リのラムを自つ先 リカフへに初える







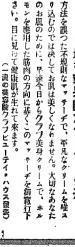














く山村道地に普及せしめ一は資源 の流者材に於ける試験的栽培を廣 的機関地産を聞ることになり従来

た南京県飲食店組合を組織し十日 盛化を棚に組合を打つて一丸とし 局機器数部数を聞ると共に組合の

関飲食店組合百二十名の菜者は時

【永登録】江南の煙染津、永登部

選擇して午後四時期会したが役員 種質を開催し提前を制定、役員を 午後一時から武徳都で劉徳真中

忠北の巡査合格者

給保安子の他開保古面を扱き即立

だ仕事があるよ

本腰で増産計畫

駐で本物そこ除けの名配や博し早 工権罪はその質その香味ともに前

南京城飲食 店組合設立

くも各地市場に登場し需要署し

【暴用】 紅原道の自慢の一つ人… | けられてゐる

常面したので語が同では意と本語

もに見職の質疑的指線野蛇に努めるため散戦け生徒に時局の重要性を緊護さしむとと総後美感……問導駆災江航島感校率条政訓

を行つたがこれこそ真に行と指の結晶ともを行ったがこれこそ真に行と指の結晶ともせ生業報國の質を結ばせることになり、主

長間、戦時強制下のシムぶルと関ふべき

赤誠の生業報國

東江簡易校に献納畓

サ年計量として更に将口、**健院**、

の十二萬本に更に今年は三萬本の の副利将迦に密展すべく即ち昨年

僕にはまた

仕事がある

産業部長候補の噂を

永井仁川府尹一笑

登場した十七人衆大型バス支部

度で今度は逆に下り

嶮路も何んのその

あつさり譯なと

京城、春川、洪川間のテスト强行

Wされたが移映中の百姓を見ては自 類定なこに場所に盛じて何謀でも進 関連的に整理した全変の巡視は何も 所得のは整理したを変の巡視は何も での場合に変現を踏ら

校左と報告したが聴性さんは内部一民心の動向、時間に対する熱小た状態を含める三日間お供して思北の情熱性である三日間お供して思北の

金知事すつかり感激

既はその質異を私すべきにあらず

野長から加賞された民山町代手 て まるとが現在人を紹介しては 女與を献金 【七四】 田 忠北の道民を泣かす

西州 東北江北北接城市回では 忠北産米は

酒米で好評 内地宣傳隊に對し 特別標記の申出で

便行脚級音頭内が部式を膨延とするなが今後「雌」の時間は肌を附押してらるを北差米、鉱の内地質「粒米として内地商人に取引されて 各都市職立業者から非常な好評をが領域、忠北米(編建)も丸仁大信州)既報、清流米として内地(めて一行中の一部に既に帰歸した

个炭自動車に凱歌高し 忠北炭酸水

宮城縣立慶県校県盟科を卒業後の成は宮城縣の鹿で大正六年、

時野海郎太田野郎神に引奉されて

【仁川】晴れの志願兵覇織所第一

も晴の首途 仁川の勇士

名松口一名の四名は上二日午前九

訓練所入所生の春川一名、塩川二

一寮川】晴れの第一同陸軍志順兵 江原の志願兵出發

削丁二時一路参川へ向け出数した

田設したがこれよりさき色、物址|別生じして入所する意北道推綱仁

開始替では午前七時半から発川

時半金知事以下官民各職難婚校生|阿名は十三日午前七時十六分上仁

機能に川府大和町根根生程(しの 川府柳町四〇金町五芸(一) 被指述

江原道の新資源に

松脂堂々登場

輸入防遏陣の一役を買ひ

すでに増産の工作

経中であつたが、今級基帝指揮 一年度の計畫として搭載提信の産 るのにほる者達に摂取をかける

消州』忠北はでは治量の農家の

忠北畜産技師增員

木原色報酬斯推顧阿희相加漢言・養泉無具対別政方面で、三下市面和管民に見致られて木原を出接した(第四)晴れの志願共に全様した

死報幽誓つて

水原の志願兵晴れの出發

更に三萬本 来頃となる模様である

遺虫軍権開品として輸送する計画 で目下空斑を英楽中輸送期に本月

星病の發生 葉煙草 に赤

常に要慮してみるが、組合では れが針節としてポルドウ流転排液 氷回」報恩地方の薬類革命中 赤星病が最生し純作者連ば非

吉林の祝察團 関係物さてけ石蔵、既勘、野菜、化、智能と技能を投けてゐるが、本意 【辞川】遊戯の機能良體制に即應「機械原東海岸乃至南部各部で松船」小道鏡を節約して貯めたコー一四

開城發海州へ 松松の名画を置り、十二年度八百 一郎工部、又は軍部用に利用される

然椎茸そこ除け

香味でもご座れ質でも來れ

各地市場の人氣もの江原道人工茸

定するはずである ナる製品は近秋菜協會で**恢复を幹**

木四百萬本あり今後これから探取における原料法松は七寸以上の東

論習符を聞きその製造、加工上の

数別袋も取りの中である

開城の童話

設生以来第一級で勇働権闘する畠 | り上げ袋毎に生在の動間文並に

【開級】府内諸月小選校では邦塾。そつと十一日までに七百袋をつ

開城禰月枝生徒から送る

七百箇の慰問袋

江原群命 (九日付)

芸の病態についで京城肺節附屬小 生徒千八百名をみつて開催林支局を投票。六年の東京派堂で時内各が歴代五、六年 8校の大石選平先生の飛行機に馴 | 室にドロクブス、チユーインガム 江十一日午後二時から満月公立小 開坡] 是南家鄉村最政党所主催 オールトーキー京日ニュース世 | チドキ、ミドゥ。ピジョン、漢河ら旅館があり体態の後支那外襲| 乾那(菊)米砂 (朝)洋線、手 巾、カ 批開城支易後機の動品と映画資 ところ貯金箱を持つて奉う生徒、間に基金を持ち寄ることになった 四十属に達したので學校では學動。明川種羊場長を命す しい赤歐こめたものばかりで人百

任期鮮總督府穩羊場技師(七等) 大津 陈和

(忠語) 有質 順松

に大谷ニュースを公開して同五時 | 此、糸、ナイフ、カンキリ等の戦地 滿月枝生の献金 母姉母の幹部が汗を達して動門袋 四乃至一四二十四の標準で職員との必需量を購入し財明袋一個に一

去の六日の愛國日に平素全生徒が「生徒か引受けて作成に顧命となり【開起】満月公立存留小學校では「作成に協力し下帝は五、六年の女 千二百點を突破 春川邑マーク歴寡経く

細胞具の觀 を呈し、今 更事 分府縣、遠く棒太、北南近丁 員を理職し締切りと共に緊急 紫川邑マークは戦報の通り 習真事事の本配作川支局主 局と協議の物果、電査委員長 審査の陣容も整ふ ◆ することになった ◆審査委員長協田並ご務印 ・ 本を見ばりまりままれ に曜田内松郎長を設けし次の

中シネマト 溶削

食堂員劍道試合 代の宣傳力の体大さに長民は

時陸軍が動かつた」め生育些く不 の適用で優に生育し現在では平

【表刊】顔川郡内の恋作は插揚ば

適期刈取督剛

鎭川の麥作

複数見層の後午後四時三分頭列車。字に即やかして用衆官氏も散系頭

を埋め特に永井府尹に敗城に崩む

定二十二日午夜一時水同神社 数の見込を受け回 時二十分 補 (黄肌面) 阿拉丸 (瀬川画) の 記書日半島最初の角旗として晴れ 【水門】郡内州身(水同面) 吳丁

永同からも人所

デー信日は午前九時平から英書用 一城(原校前)三地元官民多數參 【水門】郡野子に十四日の野民 **永同の農民デー**

動門指揮の境更に輸入運も求散等 他行が今年 神に

6) ・ 七ボントを配付を開催した(登場はその用・単常の蝦魚脳除に海人変五点で ・ 水井さはこの経管内資味見会 婀虫驅除 [帝] 母鼠

畜産江原の恩人

【春川】江原道治療技師大部陸組 ひ在職中値かに、日間しか体ん 総上図立明川 | 突然似牛の女付、猫牝牛の保護管 (成北) 標字 | 即便良地化牛の保留、倉牛多産品 神台での階級設で質賞を挙げた。

徒恩和四五千名場主つてその 前途 川端設列車で一死報園の決心を別一座江原を目指して不識の努力を抑

六類を眺めて観瞭観金した。なほ

なも休まず、斃々と服用出來ます。 いらず、どんな肝油燥ひな兒童でも 型で良く効き、臭くなく、胃腸にも リバは夏の肝油 ばいか粒 ばいかね

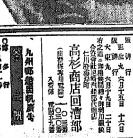
ためねばなりませんでした。しかし、概 子さまも毎年夏の季節になると、服用を収控であぶらの肝油を服用されて居るお 家庭で樂々と

で下さい。と家庭で喜んで服みます。 必要とするときです。この見から肝剤は 統力充實の好季たる夏こそ、肝油を最も ひ『ハリバ』に決めて服用を休まない 和・二面五一鏡 五百粒・十風五十鯛

東京·大阪 田邊商店

二川支店回漕部







日本海及 大月廿二年 日本海及 大月廿二年 田田科八坪店目鄉海經典文會社 田中田 代理店 都面部公司 市山田縣 代理店 都面部公司 本部四日 建山南淀香社 田田 建筑 一個電 電路入園港 電路入園港

山川帆 代理店 標由風幕府會 丸 月

《阿維·法德里·在 阿維·法德里·在 上川田縣代斯自日德德德文會社 上川田縣代斯自日德德德文會社 在 自日本·北南道·印太行 又田峰太行(全代公) 对政治图形構入 写 可称次图形構入 可

在、健康日本のシンボルです。 機利を浴び、活鮮な空氣を呼吸し 線を浴び、活鮮な空氣を呼吸し がまかが、活鮮な空氣を呼吸し がまたす。 なまれた場 の紫外光

神給することが一ばん効果的です。 との好字を選せすに、が養を充実し、皮 をれには夏も休ます、肝油=ヘリスを強め ではなった。場面の健康を暗つて下さい をれには夏も休ます、肝油=ヘリスを進め では、アイクミン人とDとを、完分に が見るができるによって下さい では、アイクミン人とDとを、完分に 沒非拍倒 代理話 网络挪输安店 网络排拍倒 代理話 网络挪输安店 西湖水田縣 代班店 富田商會

而田、阳川、四縣、

嶋谷汽船楼式會社

の様は中の中では、 様は中の中では、 をはずいます。 をはずいます。 一日四日六日九日十一日十四日 十二日十九日十一日十四日十次 十二日十九日十一日十四日十次



北海道帝 京太城阪 九東州北 京 東厚 拓 屋 氫 遞 商 文 海 陸 內 帶 帝 帝 5). 虁 翼

| |大學醫學部別 | 大大生務林道信工部單單為 科科

場電腦 部部省

朝新廣札 仙 門 大 名 東 帝 海 海 海 海 海 海 海 各 各 上 佐 吳 橫 各 練 第 第 兵航造 東 兵 器空 脑 經 支支工 理 部廠廠廠校部隊殿殿殿殿殿殿殿

阪 大· 會 商 瀬 長 社 會 式 株 鹼 石 王 花 · 京 東 %四・九九度粹純 IE 但

戦時下の徴兵檢查

吉田徴兵官・感激して語る

丁目期村イセさん外三人の婦人 一九時現在四米を示し、午後六時に馬松野 一京姚光郎町 一の降南で流げの増水は十三日午前

鉄道局の調査によれば十一日夜末

早くも申込み殺到

【サムアビル―米版―殿同盟】 富

戦捷祝賀の夏至祭

念發起でこの力

素芸・金に刺して父親の土地時位 | 持ちの篆跡、全持の裟、又は良家の『**』 | 「何比も假名!」は去る二月 | 金マの他の役用に朝した持句・物

令職に近寄つては関け英大な財産

相手は京電の女車掌

てゐる、なは手切六時現在の開州

六五四

日日日

10年金

時五場開

時六演開

に採知され、取明べの通むにつれて泉茶の子女をあげる様色グループが摘還されるものとみもの寡婦、泉茶の金鰈、姜葡藜人に鑑予をのばして磐子院を後上げてゐた事が京都通形が別額の土地を貸り飛ばして進興費に質て、 穴垣めに精歌浮址を思い立ち特拝

選に民事訴訟にまで所述が連一 け担手に全が無くなると刑石傷い

知され「そうは行かねーサ」と誘惑、女の大切な物を奪つた上したところ登職」事前で父」を持つてゐるが夫婦になつてくれ

父の宗義を手使つてゐたが支那事程者で、1人息子のため卒業後し

一年明大法科を出た柔進初段の

人息宇胸谷一貫上等兵で胸谷上

非町七四隅豆鉱一氏(*o)とその

||美談の主は||

【東京電話】さきに内地域海軍病院に自夜の勇士を御暦間あらせられた東久通宮起助子内親王 果京驛御出發あらせら

慰問後援を希望

に呼び掛け人気を博してゐたが、 このほど柳保事業と時局至職を多

亀夫却建市しい東同生帯の第二歩を発用した「気候は建学子でき入所式と観視の大春作和」時半には大春須利も車を停めて此の北学生で、人所生を劇略・打練つて朝鮮連首に変物の食

が日本語のではある。 第一部のではある。 あら川作業館のではある。

劉統府長、無々たる青年の整備を逃いて主局志願兵制度の第一頁

。日本後三時から越大職業で盛行された。二回の力機い受闘の覚疑に次いで鰻風

きのふ歴史的入所式

祭光の朝鮮機管所随 順生 | 百二名の人

京海市四个月二二二四本1495

今

を では が が が が が が が 行

會電

では、大きなのでは、大きないのでは、ためのでは、大きないのでは、ないのでは、大きないのでは、大きないのでは、

製工

簡保宣傳の紙芝居

殿下には重ねて点后陛下の有難で却沙汰を奉じて十三日午後十一時里京城御塾朝鮮各地の像納 原井順侍女等を從へさせられ午後十時四十分麻布市兵衛町の面標漸變面豫定の如く尚十

時東京整菱急行列車にて御渡ばの途につかせられた



御木徳一等

型語(統領ひとのよう教験群) (意果の時心をたず不敬の動につき) 健を原然たらしめた教職の金融が不敬 罪に間(はる) 本に更に分動とたづてのた所教(版) こに会園民はもとより七五一萬位、丁・入前一・本二

に大阪地方総対所并川瓊織料事に「決定書を予被者に遂附すると共に等七名の談職権行服表事件けるぎ 前御木添一ほか七名の瓊綱を経緯

取間の手を進めてゐたが十三日午 | 完全に暴闘されるに至つた

時に、「講談社の給」良い智能は、子供の

女子 化丁里用女子

★ 子 専門は動き間である。
★ 子 専門は動き間である。
第二次等の大型の大型のできる。

家

政

京日安约

東京城府弘評町 京 城 牧 玛尔特人大工

御角景の方は一直に一直に

大 東大郭大日本大東市 日本成日市成日第一九八 岡田市成日第一九八 岡田市成日第一九八 岡田市成日第一九八 田田市成日第一九八

タイピスト至急採用(高大学) 雅智芸技界本人来戦、針科大化前後の上朝 郎 韓 韓 軍 貞 康

質品の高柱 対比・リリン

元

日、30 会体を表現の大型のでは、10 会体を表現のでは、10 会体を表現のは、10 会体を表現のは、10 会体を表現のは、10 会体を表現のは、10 会体を表現のは、10 会体を表現した。10 会体を表現り、10 会体を表現した。10 会体を表現り、10 会体を表現した。10 会体を表現した。10 会体を表現り、10 会体

○城大マンドヨン部では、十六日

(木曜) 年後七時半より

さの一公常任委員選舉を続

醜い勢力抗爭表面化

親の土地を賣損つた穴埋めに

飛石傳ひの結婚詐欺

の道樂息子が

の『二子九十五圓四國で夏却』一一の十五議員が常選四時五十分開合

、五合といる特徴い米の山となつた を集めたところ八十三石七年八升

> 開釈を基礎し助向に多大の注目が 更の内面工作が行はれ あんぱらんである

場一日開場す一海岸に野木神、光州、青春州、夢金浦海水浴一年島西都一千四百七十三人と前と

の環境に減々、村中島の英雄を心から眺めること保定、存城を始め山西各地(へて全生徒から形態金を集めて岡 京城中學の卒業生

別は九州廿二萬七千八百人

板倉軍曹樹盛祭

於京城府民舘大講堂

主催 京 社

曹員券(入場税共)

M 00 Ξ 8



書出紀滅 れることになったが、数百歳光に

水川丸で素を強け向六日秋が 二般に分れ沙市班は七月四日動物ナダ女が以日本観光賦二十九名は 北米の女教員來鮮

債國變事那支 **賣局便郵** [100第

銀の領しか、、銀砂手里の第三知」して軽端でも京越、龍山、開展、「四四十二線(画行規が合む)に関く――維持の書、維骨の海原・自一中食砂線の五個井守・ビスに呼贈)ら沙里院とこの割引運動は主機 4來月二日から八月世一日 ニーから局際三朝男の取扱いを上側部総督の夢金剛選水浴場一散復改州、平興、集三師、 ることになったので身体に 中六人、女子は子育為三子四百十 である。男子は千百世五萬、平五」護婦の和と扱った低員版育次郎は は非難に因る中華民國人の引指げ 百人で撼人目の三分八川。外國人 で昨年に比べて三分の1を観で四 九人、内舒则は中島人二子百六十一 昨年末の現住戸日發表さる 六皇十 元 元四三 9円円 内地軍所下請工業の观察を終へ 軍需工業視察 達の射像心をそうつてみる。 報告座談會

の治療に、水あたり、食あたり 場合には實に頓座的効果を現性の腸力タールで腹痛・下 モールをお勤めします。 性の胃腸病 で永年の問種を チフス・赤痢の豫防に、腹部 ざも一向捗々しくないときに

楊別築内

以上、五旗以



一、 ウエルフレー式陶 一、 調板若干 一、 調板若干 特式會駐 猫 製 作 听机放射水流调写三二三番地

公奉御ノ後統テメセデ債國

名

費出值 賣出期 Ŧi. 百 Ti 二十五圓券—廿四圓五十鏡 同 六月十五 三分半利國庫債券(つ號) + 百 月三十 **圓券─九十八圓** 四券—四百九十圖 圓券—四 圓券─九百八十圖 間 段 稱 日マデ E + 3 九 墨

一子局布石の

常識

◆黒二は敢て否定する程の手で

熙十の新手は場合に依る

七段瀬越憲作

も普通であり、それが二子局の常

た約束をしたのか』

一人はないと思ふから、踏にも話 「お互ひに若い年で、また愈ぐに 「ゴッと前からしてあるんです」 「けつきり聞かせておくれた。 すつたのかい 配が面に存んだ

『詩美衣さんと、何か約束でもた は時は坐り直した。 只事でない知

豫窓があつた。ぎくりつとして さらだつたらいけませんから そんな事ちゃあるまいれ

まさか、お前・海美次さんと何

よっと、お時に鏡感があつた。

思ふあなたの形へ方が、初めから

ん、ああ云ふ人を相手に選ばうと も、全然、問題になりやアしませ 「どう云を既にも、斯ち云を歌に

指揮 山 田 榮 一 一 世 年 (東) 時報 (東) 歌請山

を考へたものだから、前以つてお

や五で相手を見極める力は田て來 では観射でゐた方が好い、二十四「さだ二十四ぢやないか。三十古 たら、結末を賦除には出來なかつ 在ら、結末を翻訳には出来なかっ 押が必要が、私へてごらん。 奈美 な理由であつな。 田したのを後悔したが、日を切つ 押が必要が、私へてごらん。 奈美 な理由であつな。 らなかつたっ た。云ふところまでは云はねばな

母は真向から云つた。

とない、またく結婚は早い」「『講美次さんでけいけませんか』

「さうかしら……」

日四十

今、直ぐにと云ふのではありま

(・二五 ニュース ・前六・00 (東) ラデオ酢操 ・ O T (東) 朝の修業 東郷元・ I O (東) 荘健漢語調座・ OO (東) 時報・ 朝の部 (イ) 月の天龍(ロ) 串本前 (ハ) 艮藤の版

一五(城) 煙味源漬(切烊路 気だより (イ) 将水一角の唄(ロ)北 (水) 将水一角の唄(ロ)北 九・三〇 (京) 時報・ニュー **巻実談** の番組・地方へのニュース・銃 の番組・地方へのニュース・銃

〇・二〇(東)宏庭調理 委養 0・00 (東) 衛生メモ 日用

(2) お馬のけいこ

〇(果)朝の清様(レコー

演出縣公

山縣公を憶る

の歌業に對する評憶を著にしたい 元帥の歴史日に召りますので河公。光郎ある我が随軍の創立、其他公 本日即ち六月十四日は政公群山縣。長州側に立つた倭能適切な指揮、 の事職についてお話申し上げ、公 の超日として舞踊者常の東京芸、『石琴』とようと手出ている。 の知日として舞踊者常の東京芸、公の生立ち、推奨の際における外、次島中静に大陸、寺『各『間の』の事と布してす。 私付こ、に山脈 船攻撃、幕府の長州征伐に對する 常生活の一雄をお話申し上げたい の至誠衆國の盛力を述べ又公の日

夜の部

指導並件奏 長妻 完善

大・五五(東)カレント・トピッ の 大・五五(東)路貨 山縣公を版 と ・ 静葉中帯 大島 健一 公 ・ 神楽中帯 大島 健一 公

農民日に際し

御代を通じ結合者国の大事に遊覧 (後七八三〇) 林

に握つても大差はないがったノ四十 本日は長くも 聖上陸下が昭和二一億余子のために、わしも一枚買つ

○白七のワリウチは絶對とも云 と、自は『ねノ三』の一子から右 登場園 基に一、三と打たれる ○それは黒十で 『はノ西にっ 抜きすれば『ヒノ十五』にあくカ

自は左右の石を翔される事になり この南石を甘く遊く事は中々の華 要するに暴し、三と打たれると

と、黒は『ピノ四の産を出版と

んヒラキ、黒に七のヒラキを許す

白著しこの手を以て『れノ九』

「ロノ五」を可とする所以でもある。 根本理由であると同時に、暴力は ◇右の急遽置が自力を否定した

でから九とカ、つたのは、方向を

分の影局語に於て、これを局毎に に據り、三子間に通ずる配合を布 れてか、黒三の手を「土ノ四」の いた打掛け、積本大段が毎二段時

ノ三」或は『ヘノ三』にヒラから 如く無八と左からずれば、白『と 白 『わノ三』にヒラくべく、誰の

その意味からしても、白九は宮

本は順を基めとして、差に兼長し 思うて陽の試者と天上帯が、重 何集が「着良いかと天滅に、何れく我に改めて述べるとでもなく」の熱端である。 ◆ ○道二字左上陽を打つとすれば

暮の

經 路

> (で立配な人と思いますし、家庭) 「探検の三番(一) 松田摩子郎のれはあ、云かお方です。 あれた 八・〇〇(東) 弾機引弾波 北海 だもいけないし、珠にあなたの でありませんの音英次さんの信 入つて、人の姿になるべきお方 八・〇〇(東)ピアノ獨奏(第二 数位・京城・平道) 二、五つの無言歌 10・10階語調座(六)李完施

上海三味線 年前10·00(號) 翻線總費府 際軍兵志願者應轉所開兩玄實況 (承二裝置。京嶽·平嶽)三京城

液化師 有村治左衛門 一 の質を操げんことを期するもので て半島の東大なる政権と歴史

大・二五 (城) 趣味講演 朝鮮の ラヂオドラマ

ル・〇八 (東) ラデオドラマ

鳥(二)蘭陵乃を結る くから孫の正男と表に出て、ラチしかも繁自使である。今日も前早 水市小屋の茂六給さんは聞き者で **同愛田宜徳用に募集したラデオ標金の守りは先つ図仮よりと大** マ脚本の内人選作の一緒を

朝鮮放送協會技術部長

アナウンサー 伊御 アナウンサー 伊郷村長 北 一

八・四〇(東)独語が解離 土 大小四〇(東)独語が解離 細座 土 保証 骨玉 く 様原 昌三 く

つている。『補出せば座る個もな

以にして良い難で限ひながら続

明第中将 大島 健一

郵便局の、器で費出す、国位を みに來る。べさあさ買いましよ。 ラデオで放送してもらひ度いと観 共成へ安郎村長が訪ねて来て、

つかり感心して、自分も1枚買け

『全くれ、有難い事です、事變図

二於テ再選セラレ昭和拾桑却五月八年間住一任明治「二十定時機代会」、統山会兼組合(運更)組合模 法人登記公告

編製工工作四月號前 編製工工作四月號前

商業登記公告

、昭和拾令年五月拾参日死亡シの昭和拾令年五月拾参日死亡シ 法人登記公告 **麟裡里出張所**

商業登記公告 酷寧遠出張所 旅**縣春刈支廳**

如言重大なる理由に依るのである 白の潜手が既在してゐる意に、 用ひるのが、電気とされてある。 うになつたのである に自己の 歌刀――何へば 『ねノ この手の成立個座が認められるや 四にに黒の潜事が、先在してゐる は排斥された手であるが、新布石 元來十とカケら手は、主に左方

と云ふやうな意味から、暴しけ

現下非常時間に此の記念日を迎へ一波に乗つて飛ぶ 本年はその第十一回目に置り恰も し、朝鮮總督以下官民盛つて田龍 ウンサーの紹介アナウンスよろし れもちゃんと肌になってるるちゃ くあつて、茂宍爺さんの英郷は電 へこれし続後の護の一つ。事物 (放送局では、アナ

本品は海軍助水布 ・ 大野神のに最適品、 ・ 大野神のに、 ・ 中古品。

◎海軍型防水布外套 等下景源了社

へ事理消職係手のために、わり 最後には確され自作の現も出る

他 英 为六月 日午加出他 中支,为六月 日午後入他 中支,一十七日午前出他 小大,一十七日午前出他

高木永二・外

代理店

朝鮮汽船出帆廣告

参 山 行(65行)月廿回夜午 一九山田帆 11時

同時に下痢を除々に止める作用があり物を吸着し病原菌を殺す作用がありアルシリン・ワイス……お腸の中の惡い

商業登記公告

ましてからます。 申上げる なるなくビタミンBとアミノ酸は発 関を惑くすると必ず失策が悪くなり 勝を惑くすると必ず失策が悪くなり を取るすると必ず失策が悪くなり を取るなります。 阿や ではいたのであります。 アウ はは、上の変には必ずビタミンBとアミノ酸は発 では、一般には、一般には、一般に表 アスターゼ……胃の消化力を助 明化力を弱める作用があります。 グキシア……デアスターゼのけ消化不良を治す作用があります。

須は幅られない様果々も御注意下さい。 まて来ます可愛いお子様が出來るだけ。 曖骸がよくなるにつれて胃腸の病気は 質に優秀な薬でありま ペーピー散はその様な場合に効能があり

一、お子様が急に下痢をなされた場合 臭くて治が立ち粘液が混つた便を又は始終軟かい便をされる場合 化してのない便をされたりする場合飲がなく食べた物を吐いたり消 された場合

意味暗暗大門通二丁目 经替口座 OOCEE

商業登記公告

く為に本郷の内容を公開致しませう。 うますが安心してお子供様に服用している薬です。お話は少し専門的に、 だけの胃臓薬として投資されました母 存知ですか? ベービー散は今周お子供様のサケはお子供様の胃腸薬ベービー散を御りなはお子供様の胃腸薬ベービー散を御りない。 下痢をしてゐられる方は何座居ませんでしようか。

では、 のでは、 のでは、

登記公告

(中古政政品)

一枚二付三四九十餘

の爲に下痢を起すのでありますから場合は必ず腸の中に悪い物がありそ何故かと申上げますと下痢を起した に止める事は非常に危險な事である薬が用ひられてゐましたが下痢を発來迄の下痢止藥は急に下痢を止める吸れを防ぐ作用とがあります。

い物を消毒する作用があります。ベンツオナフトールはお腸の中の 的な下痢止薬と云ふ事が出來ます 大和也という。

商業登記公告 **赤鳥高敞出張所**

前に、依り以附法人五威和特勢年参月就指八日の中學校(製史)、法人

登記公告

総群山支廳 〇海軍水兵短航4品一星三個五十錢

〇女學生短靴(中古改造品 二 足三圓二十八

別 上たる丈夫向短靴にて大衆向品加工したる丈夫向短靴にて大衆向品本品は海軍神下の水兵短靴を改造 (中古政造品)

- 州 地方 に院 登記公告

宋兴至尉(殿立)而愿第二朝鲜唐。山府光明五号新北波野青太郎 宋兴至尉(殿立)而愿第二朝鲜唐。山府光明五号新北波野青太郎 の頭痛り

郡文皇而文程里式八九番の選問年五月七日就任シ

日定時期代會三於子樂班了精果左期前了了 战昭和拾金華四月就拾號文庫並附組合〇組合長李熙俊八年

法人登記公告

方法院群山支 廳 希臘和拉桑亞 五月或 拉耳及 腿

き向人代近 2世間井 中間間井

